

## 消防技術を競う揖斐郡消防操法大会

～揖斐川町消防団が2部門で優勝～

6月15日(日)、相羽グラウンド(大野町)で、第59回揖斐郡消防操法大会が開催されました。

大会には揖斐郡内の消防団から、小型ポンプの部に12チーム、ポンプ車の部には11チームが出場し、消防技術を競いました。

大会の結果は次のとおりです。

### 小型ポンプの部

- 優勝 揖斐川町消防団 小島分団
- 準優勝 揖斐川町消防団 北方分団
- 3位 揖斐川町消防団 大和分団

### ポンプ車の部

- 優勝 揖斐川町消防団 揖斐分団
- 準優勝 大野町消防団 1班
- 3位 池田町消防団 1班



▲小型ポンプ操法



▲小型ポンプの部優勝 小島分団



▲ポンプ車の部準優勝 揖斐分団

また、この大会で優勝した揖斐川町消防団は、8月3日(日)に白川村で開催される「消防感謝祭」第63回岐阜県消防操法大会に揖斐郡代表として出場します。

## 高齢者交通安全指導員委嘱式

～高齢者の事故防止を～

6月9日(月)、揖斐署の高齢者交通安全指導員の委嘱式と研修会が、揖斐川町役場で行われました。同指導員は、高齢者らが交通事故に遭わないように、地域の集会などで事故防止を呼びかけます。委嘱された皆さんは、次のとおりです。

- 橋本 満さん (小島)
- 高橋正昭さん (清水)
- 竹中みねさん (三輪)
- 香田健治さん (谷汲名礼)
- 國枝久夫さん (谷汲岐礼)
- 駒月作弘さん (春日美束)
- 藤田宮子さん (春日六合)
- 安藤鷲美さん (小津)
- 村瀬幸司さん (外津汲)
- 中野郁子さん (東横山)
- 須網政人さん (坂内川上)



▲委嘱状が交付されました

## 谷汲ゆり園

～30万球のゆりがお出迎え～

6月8日(日)、谷汲ゆり園がオープンし、30万株のゆりが来場者を出迎えました。

谷汲ゆり園は、谷汲大洞地区の皆さんの手作りで、平成8年の開園以来、大勢の人が訪れる人気の観光スポットとして知られています。

現在は、3ヘクタールの敷地におよそ45種類のゆりが植えられており、形や大きさ、色とりどりのゆりを観賞することができます。6月15日(日)と22日(日)には、ゆりまつり(イベント)が開催され、早咲きのスカシユリ系の花が鮮やかに園内を彩りました。会場内では、歌謡ショーやバザーが行われ来場者を楽しませていました。



▲ひのき林の中に広大なゆりの園が広がります



▲ピースウォークの様子（役場駐車場にて）

6月15日（日）、核兵器廃絶や戦争反対を訴えて行進する「国民平和大行進」が揖斐郡3町や神戸町で行われ、揖斐川町では、真教寺（三輪）から役場に立ち寄り、J A いび川までを約30人が行進しました。

この取組みは、東京や沖縄から平和への思いを訴えながら広島や長崎を目指すもので揖斐川町でも毎年行われています。

この日、役場を訪れた参加者らに宗宮町長は、「唯一の被爆国として、核兵器の恐ろしさを伝え、廃絶を訴えていくことが責務である」と話し、平和への願いが込められたペナントを参加者に手渡しました。

**国民平和大行進が揖斐川町に**  
核兵器のない世界をめざして



▲入賞した被表彰者

6月22日（日）、私が夢みるまちづくりコンテストの審査発表と表彰が行われました。

大垣青年会議所が主催するこのコンテストは、西濃地域に住む人がまちづくりのアイデアを提案するもので、今年で2回目の開催です。

今回は、未来の揖斐川町について「安心・安全で住みやすいまち」など4つのテーマで募集し、660件の応募がありました。この日は、入選した8つのアイデアが紹介され、その中から、来場者の投票でグランプリが選ばれました。グランプリに輝いたのは、「ブルーライト」犯罪防止0（ゼロ）大作戦を提案した谷汲小学校の岡部煌世さん。犯罪防止に効果のある青色の街路灯を設置して、安全・安心なまちづくりにつなげるというアイデアでした。

**私が夢みるまちづくりコンテスト**  
グランプリが決定



▲野生鳥獣について話を聞く児童

6月25日（水）、町内の学校や幼稚園の給食など（約3000食）にシカ肉の入ったジビエカレーが出されました。ジビエとは、野生鳥獣の肉を意味する言葉で、近年、シカなどによる農作物への被害が増えており、一定量に減らすための捕獲が進められています。

この日は、谷汲小学校のランチルームで、岐阜大学野生動物管理研究センターの森部 絢 助教授の話があり、野生鳥獣が及ぼす影響や実態などについて学びました。

カレーに使われたのはシカ肉の口スやモモの部分で、野生鳥獣特有の臭みを消すために、香辛料や調理に工夫がされており、子どもたちに好評でした。

**県下初 給食にジビエカレー**  
シカ肉の活用メニュー



▲災害救援ボランティアによる土砂除去訓練

土砂災害が発生したことを想定した防災訓練「災害から命を守る揖斐川町藤橋地区土砂災害防災訓練」が6月29日（日）、藤橋地区で行われました。

災害発生時の被害を最小限に食い止めることを目的としているこの訓練には、藤橋地区の住民や関係機関の職員など300人が参加し、各地域で避難訓練を実施しました。

また、2次避難所となった西濃学園の運動場では、消防団による土のうこしらえ、揖斐川町災害救援ボランティアによる土砂除去、揖斐郡消防組合による建物屋上からの救出などの訓練が行われました。

訓練終了後には、越美山系砂防事務所長の防災講演会も行われ、参加者は、防災意識を高めていきました。

**藤橋地区土砂災害防災訓練**  
災害時の体制を確認